

藤川の里 だより

発行/（社福）愛知県厚生事業団

～おもいやりを かたち～

愛厚藤川の里 （障害者支援施設）

〒444-3523 岡崎市藤川町字堤ヶ入 1-2

平成29年

10月1日発行

第107号



一週間前の天気予報では雨の予報もみられ、天候を心配しておりましたが、当日は無事に開催することが出来ました。

夏祭り当日は、長篠陣太鼓保存会の皆様、愛知産業大学三河高等学校地域交流活動部の皆様、藤川学区福祉委員会五万石本宿教室の皆様、立正佼成会岡崎支部の皆様のほかにも、大学生のボランティアとして岡崎女子短期大学、柳城短期大学、中部善意銀行の夏期高校生ボランティアとして愛知産業大学三河高等学校、愛知産業大学工業高等学校、幸田高等学校、岡崎東高等学校、光ヶ丘女子高等学校、岡崎学園高等学校の学生の皆様、地域の皆様、ご家族様と多くの方に、ご理解、ご協力をいただくことで、利用者様と共に楽しい時間を共有することができました。本当にありがとうございました。

今年のメインアトラクションは長篠陣太鼓保存会の皆様による和太鼓演奏と愛知産業大学三河高等学校地域交流活動部の皆様によるよさこい踊りを披露していただきました。

間近でみる和太鼓演奏は迫力あり、そのなかにも繊細な動きもありで、会場は大変盛り上がりしました。よさこい踊りは、テンポのよい音楽に合わせた、軽快なステップと豪快な踊り、観ていてとても楽しい気分になり、気がつけば皆で一緒に体を動かしていました。職員一同、利用者様やご参加の皆様にも喜んでいただけた内容にしようと思今年も試行錯誤を行いました。今年は新しく、チュロスの模擬店を行い、他にも様々な模擬店が出店しました。残念ながら新しい試みのチュロスは、他の模擬店の品物よりも出る量は少なかったですが、今後も、趣向を凝らして取り組んでいこうと思います。

最後になりますが、中田総代会会長様始め各町総代の皆様や民生委員さん、近隣中学校、高校の先生方などご出席に感謝します。参加していただいた方々、この場をお借りし改めてお礼をお伝えしたいと思います。ありがとうございました。

クッキングクラブ紹介



クッキングクラブが4月から始まりました！

毎月第1土曜日にクラブをしています。利用者さんからの希望を聞いてメニューを決めています。今までにフルーチェ・たこ焼き・お好み焼き・フルーツポンチ・あんみつ作り・ホットケーキを作りました。作ったものはその日のおやつにして利用者さんみんなで食べています。クッキングメンバーのほかにも見学者もあり、作る過程を楽しく見えています♪



フルーチェ作ってみた！



お知らせ（利用者家族の皆様へ）



利用者食事満足度調査ご協力について

事業団では、利用者食事満足度調査のご協力をお願いしています。

利用者様の普段食べている食事をしていただき、アンケートにお答えください。アンケート結果はこちらにて参考にさせていただきます。

食事は、利用者様のケアプラン検討会の日に食べていただきます。食事をするかは事前に職員がお伺いするのでよろしくお願いいたします。

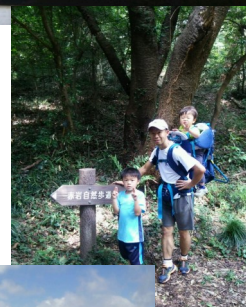
<主な質問事項>

- ①献立は、どうですか？
- ②食材の大きさ、固さはどうですか？
- ③食事環境は、どうですか？
- ④支援者の食事介助は、どうですか？

夏祭りを開催して 指導員 出店利器



美ヶ原トレイル
(完走しました！)



ペンリレーコーナー始めます！！ 一走目は小柳津支援員

北アルプス、大キレット縦走（上高地～槍ヶ岳～大喰岳～中岳～南岳～大キレット～北穂高岳～涸沢岳～奥穂高岳～前穂高岳・テント泊二泊三日）雨の日本山岳耐久レース（距離71.5km 累積標高4832m）17時間50分で完走（山の猛者2000人中440位）冬の赤岳登頂。蝶ヶ岳～常念岳日帰り縦走。富士山富士宮登山口～山頂まで1時間55分で登頂。富士山は50回以上登頂。新城トレイル32キロ7時間7分で完走等々。これまで数々の山を登頂してきましたが、結婚してからは危険な山は控えて近場の山や安全な高い山に登って楽しんでいました。最近職場の仲間や子供たちと一緒に登山やトレイルランの大会に出場していて、今年の7月1日には美ヶ原トレイルラン（距離80km、累積標高4665m）に出場し、雨の中14時間55分で完走。日々の忙しい生活の中、早朝練習をメインに行い完走することができました。それと同時に長男（8歳）と一緒に蝶ヶ岳や富士山を登頂したり、家族全員で背負子を使用して登ったりと子供の成長に合わせて高い山に登っています。生後4ヶ月の四男が大きくなってから家族みんなで登山ができるよう、これからも元気に練習を続けていきたいですね。みなさん登山は体にいいですよ～(^^)

P. S. 近場の名峰本宮山での登頂最高タイムは登り39分09秒、下り23分です☆

(小柳津支援員)

😊 イベント紹介 😊



6月11日に環境整備が行われました。家族会の方・利用者・職員総出で、環境整備を行いました。草刈や棟内の清掃等皆様のご協力で無事に終えることができました。ありがとうございました。



7月6日に七夕バイキング食が行われました。バイキングということもあり、みなさん大盛り上がり！メニューも冷麦、から揚げ、焼きおにぎり、ポテトサラダ、星のコロッケ・ハンバーグ・シュークリーム、しゅうまいと豪華でした！みなさん、好きなものを好きな分にとって楽しんでいる様子でした。終わった後も利用者さんから「お美味しかった！」、「またやりたいね」と声をいただきました。



7月21日にわくわく外出がありました。今回はエアポートウォーク名古屋に行ってきました！屋食も好きなものを選び、その後、カフェに行きコーヒーを飲んだり、お店の中を回ったりと皆さん思い思いに満喫していました(^0^)! 帰りのバスでも「楽しかったね、また行こうね。」と嬉しそうにされていました。

「強度行動障害者養成研修」に行ってきました！

生活支援員 大塚浩二

7月上旬に東京で行われた「強度行動障害支援者養成研修」というものに参加させていただきました。

「強度行動障害」と字面でみると、凄くおどろおどろしいものに見えるかもしれませんが。実際に生活の中で、激しく自傷させる行為であったり、ものを壊してしまったり、その場から一切身動きが取れなくなってしまう事や、パニックになり必要以上に大きな声で叫ぶことなどが「強度行動障害」に該当する一部分になります。

こうした行動面で課題が現われている人たちを時として「困った人」と思ってしまうがちです。その行動が激しいものであったり、周囲に大きな影響を与えるものであればなおさらです。その「困った」行動をなんとかしようと悪戦苦闘することもあります。しかし、実際に「困って」いるのは、他ならぬ本人なのです。周囲の環境やはたらきかけのなかで、本人が「困っている」時にそのような行動が出ていると思います。

今回参加させていただいた研修では、強度行動障害の様相を示している人たちが、理解できないまま指示される状況や感覚的な苦痛を体験する演習がありました。一例として紹介させていただきます。例えば、今この「藤川の里便り」を筒状に丸めて覗いてみてください。その状態で下駄箱まで進んでみて下さい。恐らく苦勞すると思います。転んでしまうかもしれません。それこそが障害者の方の視界なのです（もちろん個人差はあります）。こういう視界で生活されている方が、例えば施設の廊下で人にぶつかりながら移動することがあったとします。そこには「配慮」が必要になります。

考えてみれば聴覚が不自由な人には手話などの配慮があり、半身麻痺な人には衣類を着る際に麻痺側から着るといった配慮があります。どちらもとても合理的な配慮です。知的障害、自閉症の方に対してだって「合理的な配慮」が必要なはずです。

そのためには「障害特性」を理解しないことには始まらないことを痛感しました。その人その人の障害特性を踏まえて、求められる合理的配慮で応える。これこそが障害者支援の原理原則であることを学びました。私自身、知的障害者の施設に勤めて7年目になりますが、利用者様が何ゆえに激しい行動をするのかが見えてきた気がします。藤川の里の利用者様が困ることなく、質の高い生活が送ることが出来るようにするヒントをもらった、そんな研修になったと思います。貴重な経験を積ませてもらったことに感謝しつつ、今後の藤川の里の生活支援に活かしていきたいと思っています。



強度行動障害研修を職員研修で大塚支援員に開催いただきました。



軍手をはめて折り紙を折る演習です。手が不自由な方の体験です！



合理的配慮の必要がある利用者様への支援の在り方を考えます。